

2006-2008 フェローシップ課題討議会

次のステップに進むために

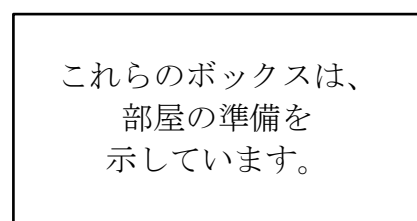
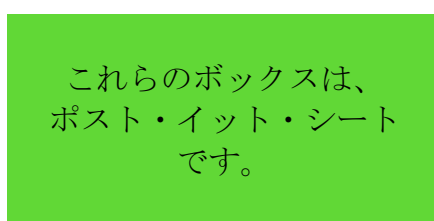
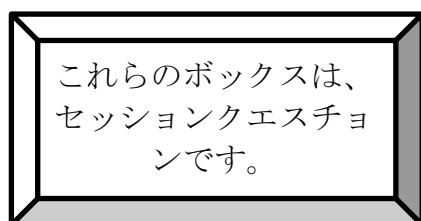
ワークショップセッションプロフィール

NA コミュニティで IDT ワークショップを実施するための支援として、これらのリソースをご検討いただき、ありがとうございます。ご存知のように、近年、私たちは、このような話し合いを促進するために、対話形式のワークショップを導入しており、NA のメンバーは、自分たちの経験を共有し、他の人の経験を聞くことに大きな価値を見出しています。私たちは、このワークショップが、私たちの仲間が今日直面している重要な問題のいくつかに取り組む上で価値あるものであることを、みなさんにも知っていただきたいと願っています。以下は、ワークショップを成功させるためのいくつかのポイントを紹介します。

- ワークショップの企画で最もお勧めなのは、徹底的な準備です。練習と見直しにより、ファシリテーターがセッションの構成と内容、および補助資料について十分な方向性を持つことができます。
- その一環として、ファシリテーターは、セッションの一部または全部の質問に対してどのように答えるかを自分で考えることができます。
- セッションは自由に変更してください。ローカルで使えるようにアレンジすることも期待され、お勧めされています。
- 通訳を使う場合は、事前に通訳者と打ち合わせを行い、セッションの流れや内容、資料など、ワークショップのあらゆる面を確認します。
- ワークショップ当日は、早めに到着し、セッションの前に部屋のセッティングを行う。オーディオビジュアル機器が正常に作動することを確認します。
- メモ用紙やペンなど、出席者のために十分な配布資料を用意する。委員会によっては、例えば、メモ用紙やペンなど、各自で用意した資料の一部を持参するよう要請することもあります。メモを取ることは奨励されるが、委員会が資料を提供する必要はないかもしれない。
- そして、楽しむことを忘れないでください！あなたがそうすれば、他の人もそうしてくれるはずです。

セッションのプロフィールを確認する際に、覚えておいてほしいことがあります。

黄色で示した項目は、ファシリテーターに焦点を当て、ヒントを提供することを目的としています。



さらに、その日の一番最初のセッションは、次の部分から始めるとよいでしょう。

はじめに

- ファシリテーターと参加者全員を紹介します
- スケジュールの概要を説明します。
- このサイクルのテーマに注意を喚起し、“私たちがなぜここにいるのか”に集中できるようにする - それはメッセージを運ぶことについてのすべて - テーブル上のキータグなどのアイテムは、世界中の NA コミュニティーを表現するのに役立つでしょう。

小グループディスカッションのプロセスについて少し話し、の要点を確認する。

- 少人数のグループで、さらに自己紹介とディスカッションを行います。
- ブレインストーミング、円卓会議、進行役によるディスカッションなど、小グループの働き方について簡単に説明します。
- 進行役の指示、ブレインストーミングのガイドライン、推奨される基本ルール、記録係の役割を説明します。
- テーブルでの自己紹介を促し、小グループのプロセスを練習するために、「アイスブレイカー」の演習を利用します。以下にアイスブレイクの例を挙げますが、ご自分のアイデアも自由に使ってください。

アイスブレイク-1

各テーブルで自己紹介をするように指示します。各自、名前、現在の役割、出身地、自分についての興味深い点（1~2例を挙げる）を述べてもらい、5~10分で終わらせます。興味深い点をいくつかを挙げ、次のセッションに進みます。

アイスブレイク-2

各テーブルで自己紹介を始めるようメンバーに指示します。各自、名前、現在の役割、出身地、ワークショップに参加するために来た距離などを述べてもらう。いくつかのテーブルで、誰が一番遠くから来たか、誰が地元の人かを尋ねます。

アイスブレイク-3

各テーブルで、グループ名など、自分たちのテーブルの名前をブレインストーミングで考え、小グループでの話し合いのプロセスを実践してもらいます。

- グループ名など、自分たちのテーブルの名前についてブレインストーミングを行い、名前に込めたいポジティブなメッセージは何でしょうか。
- 5分間で名前を決定してください。
- 部屋の中をすばやく回り、新しいテーブル名を発表してもらいます。
- グループ名の看板を作るために、テーブル用のカードストックを用意するとよいでしょう。

2006-2008年のIDTは、12ページと4ページの2種類をホームページに掲載しています。このような議論の中で、その一部をメンバーに公開することは役に立ちます。また、FTPサイトの"Workshops"というファイルフォルダには、アスタリスク(*)のついたものも含め、ワークショップの資料が用意されていることも覚えておいてください。http://www.na.org/local_resource_area.htm（もしインターネットにアクセスできない場合は、遠慮なく私たちに直接ご連絡ください。また、ワークショップへのご意見もお待ちしています。皆様の成功をお祈りいたします。）

ホームグループを強くするには セッションプロフィール

セッションの目的：

- ・NAの基盤として、強力なホームグループの重要性を強調する。
- ・「ホームグループを強くするには」ワークシートを紹介する。
- ・ホームグループを強くするためにできる行動を特定し、優先順位をつける。

テーブルの上には、ペン、マーカー、メモ用紙*、ホームグループを強くするには作るワークシート*、ブレインストーミングのガイドライン*、推奨される基本ルール*、ファシリテーターの指示*、多言語キータグが用意されています。
12ページまたは4ページのIDTアップデートを用意すること。

リーダーによるセッションのセットアップ

5分

現在のIDTの話し合いのポイントを確認する。

- ・私たちがNAで目指している回復の雰囲気と無条件の愛を作るために行っている努力を思い起こしましょう。
- ・メンバーからは、ホームグループが強くなるための3つの主要な領域、すなわち理想、実践、役割について意見が出されました。この意見は、「強いホームグループの構築」と「回復の雰囲気」についての課題討議から得られたものになります。

グループインベントリーワークシートを紹介する

10分

この議論において、なぜ私たちが今いる場所にいるのかを説明してください。私たちは、ホームグループを強くするとは何かについて、多くの同じ考えを共有しているようですが、どうすればそこに到達できるのか、それが問題なようです。

ワークシートをグループに紹介する（ワークシートはテーブルの上にある）

これらのことを考慮し、私たちは現在の意見をもとに、グループが成長し変化する方法を見出すための基本的なツールの概要を示しました。

- ・重要な問題に対して、実行可能なアクションを展開すること。
- ・このツールは、グループのビジネスミーティングで使用することができ、グループがより強くなるための実践的な方法を考えるのに役立つこと。

- ・このテーマで議論することで、グループが課題に取り組むための新しい方法を見出すことができること。また、皆さんの経験を共有していただければと思います。

ワークシートの指示と例を声に出して読み、何か明確な意見があれば、間を置いて発言する。

- ・このツールは、どのような場でも解決策を議論するために使うことができます

グループがワークシートに集中したところで、次はその準備として、各テーブルがワークシートに取り組む。

が、おそらくグループレベルで最も効果的でしょう。

- ・今、あなたと一緒にツールを使いこなしたいのです。

スモールディスカッションセットアップ

10分

- ・この演習では、各テーブルを「グループ」とし、メンバーはここで自分のホームグループの経験を基礎として考えることができます。
- ・メンバーにプロセスを思い出させる。重要な問題を特定し、その問題に対処するための具体的な行動をブレインストーミングする。
- ・作業中に参照できるように、ポストイットに手順を書いておく。

小グループの説明

- ・改善点の洗い出し
 - 重要な問題に対してメンバーが「投票」する
- ・論点を整理する
 - 投票を集計し、議論されるべき問題を提示する
- ・解決策のブレインストーミング
 - 新しいアイデアとそうでないアイデアを検討する
- ・解決策を選ぶ
 - 最良のアイデアを選択し、必要であれば投票する
- ・決定を下す
 - 「誰が」「どのように」を含む行動計画を立てる
 - 行動計画をポストイット・シートに記録する

各グループにワークシートの記入を促し、25分しか時間がないことを伝える。

- ・各グループに書記と進行役を選ぶように促す。
- ・各メンバーは、上位2つの課題に自分のワークシートに印をつけ、グループメンバーと一緒に投票します。ワークシートはテーブルの記録係が集計し、最も多くの票を得た課題を検討課題とします。(5分)
- ・各テーブルのファシリテーターが課題を述べ、その課題に対する共通理解を確認します。(ホームグループでの実践でない時には、代表の意見を聞いてそれを課題とします。)その後、メンバーは問題に対処するために可能な解決策をブレインストーミングで選び、話し合います。(10分)
 - 記録者はポストイットでアイデアを記録すること
 - 1枚のポストイットに8行くらいの大きな文字で書くように指示をする。
 - 例えば、シートの一番上に「理想：サービスの精神」と書くなど、オリジナルの問題とカテゴリーでポストイットを特定するようグループに指示する。
- ・10分経過後、メンバーに、可能性のある解決策のリストに印をつけて、上位2つの解決策に投票するよう求める。最も多くの票を獲得した解決策が次のステップに進むこととなります。
- ・解決策が決まったら、解決策を実現するためのアクションリストをテーブルでブレインストーミングします。(10分)
 - ここでも、記録係はポストイットを使ってアイデアを記録してください。
- ・上記の時間配分に沿ってプロセスを進めるよう、メンバーに注意を喚起する。
- ・部屋の中を動き回り、行き詰まったグループや混乱しているグループを助ける。
- ・ポストイットが埋まったら、壁に貼る。理想、実践、役割のカテゴリーごとに整理しておくとい。

時間が終了したら、部屋の中を移動し、貼られているポストイットからポストイットへ、記載されている行動をそれぞれが検討します。

- ・その行動は合理的で、手の届く範囲にあるか？
- ・「誰が」「どのように」を探す。

- ・フォローアップと評価も重要であることを忘れないでください。

このセッション以降もこのツールを使用する場合、グループは毎年1回、またはもっと頻繁にこの演習を行うことができることをメンバーに思い出させる。また、問題が解決されるたびに、優先順位をつけたリストを見直すこともできます。

話をまとめる

5分

このプロセスに価値を見出し、グループのビジネスミーティングでこのプロセスのための時間を作ってほしいという私たちの希望をメンバーに伝える。

- ・NAWSにご意見をお寄せください。
- ・他の人と共有する

12ページまたは4ページのIDTアップデートをセッションの最後に提供すること。